

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	①土砂災害・地震等の防災各種マニュアルは、適宜、更新(見直し)を行っている。 避難場所までの搬送訓練は、ご利用者様に見立てたスタッフに行っているが、ご利用者様の参加は消防訓練のみである。 ②地域の避難場所にベッド等の設備が整っていない。 ③備蓄品のリストを作成し、賞味期限の確認を行っている。	実体に合った防災訓練の実施	①マニュアルは、今後も適宜更新を行う。 避難場所までの搬送訓練は、ご利用者様が、参加した訓練を実施する。 (地域の方への呼びかけを行う) ②地域避難場所の整備について、運営推進会議等を通し、お願いしていく。 ③備蓄品の更新。	6ヶ月
2	7	毎月のカンファレンス(会議)にて、スピーチロックや虐待防止について、意識を持って努めているかの確認を行っているが、専門職としての知識不足を感じることもある。 外部研修には、積極的に参加しているが、全員の参加までには至っていない。	スピーチロック・身体拘束(行動抑制) 虐待の防止	ご利用者様及びスタッフにもストレスのかからない、ケア方法を考えるなど、スピーチロックや虐待の起こらない環境をつくっていく。 ご利用者様が、なぜ自宅ではなく、ここ(施設)にいるのかを今一度理解・認識し、私たちができることを精一杯、行っていく。 (居心地のよい場所づくり) 研修に参加し、知識を習得する。	6ヶ月
3	23	やりたい事や行きたい場所への外出支援は、少しずつ実現できているが、全員までには至っていない。	一人ひとりの思いや夢への実現に取り組む	一人でも多くの思いや夢を叶えていく。 (目標:1か月に一人)	12ヶ月
4	2	地域のイベントにはよく声をかけていただいている。 地域の方のご利用者様も増えてきた。 施設のイベントを楽しみにしているとの声も聞かれるようになったが、マンネリ化してきているようにも思える。	地域の方の相談窓口としての役割をはたす 地域の方に気軽によつてもらえる施設となる	ご利用者様の満足度のアップを図る。 挨拶はしっかりと行っていく。 車運転のマナー等には充分気を付けていく。 興味をもっていただけるよう、イベントの工夫を行っていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。